

令和5年度病害虫発生調査速報第5号について

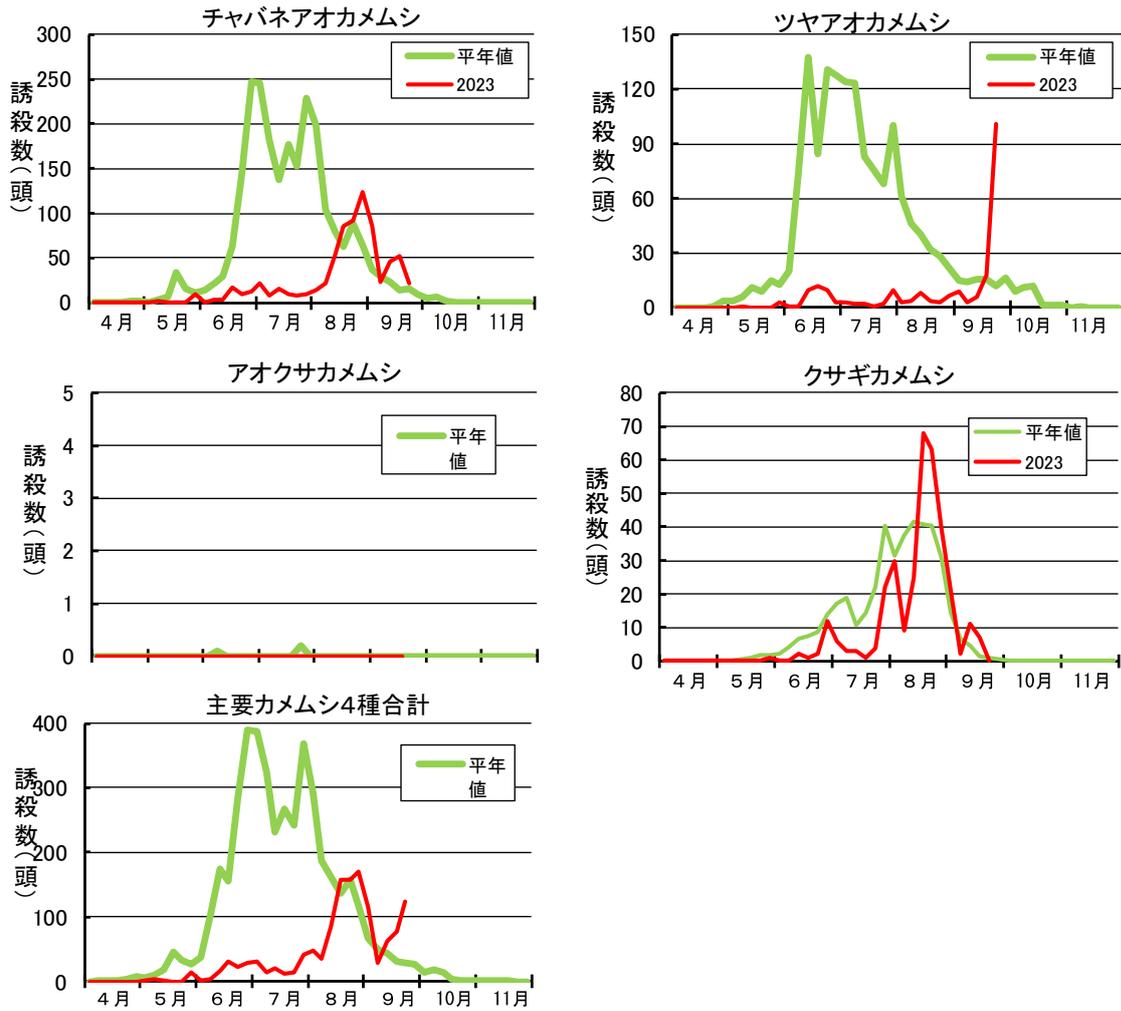
このことについて、次のとおり発表したので送付します。

令和5年度 病害虫発生調査速報 第5号

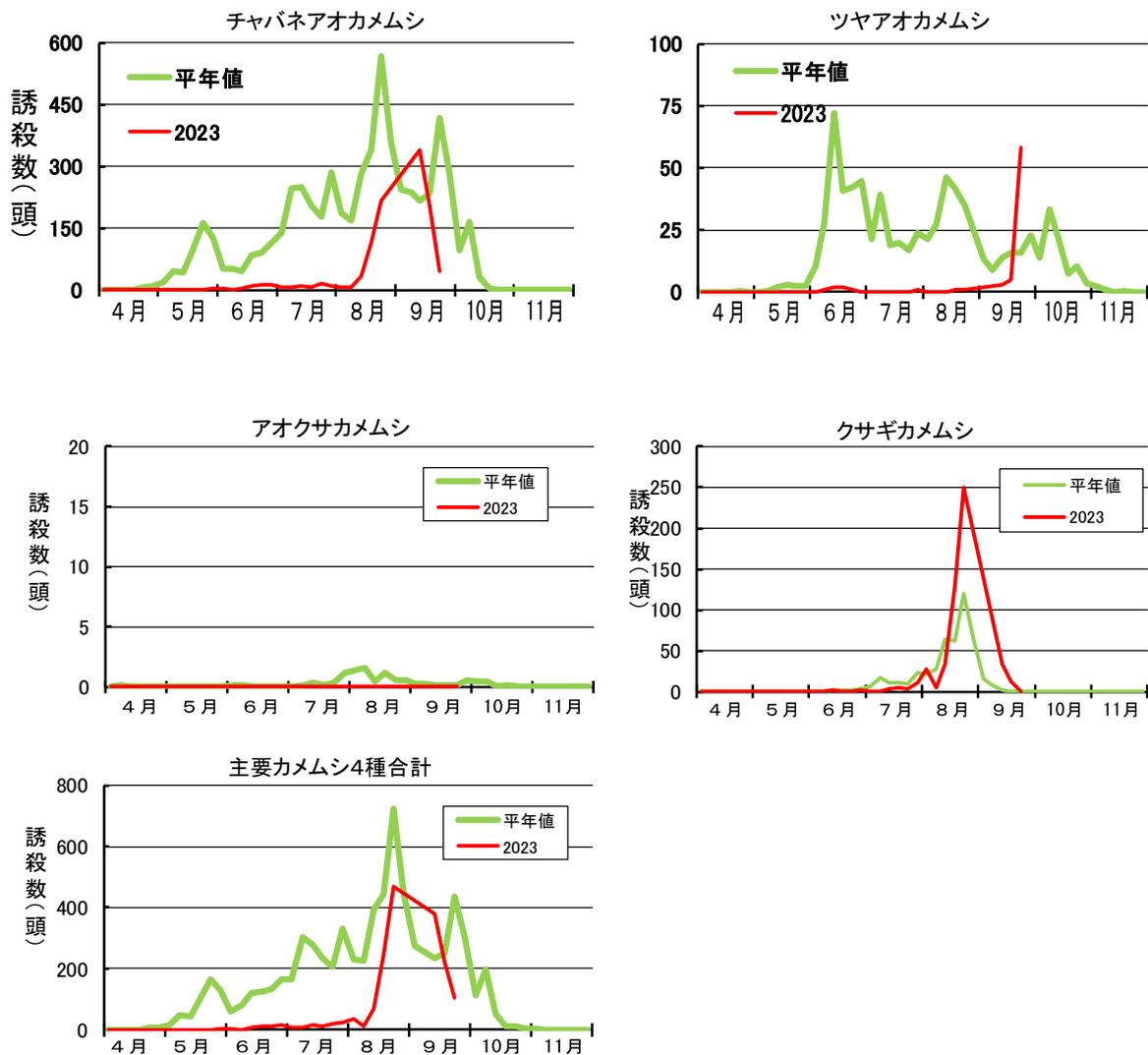
1. 病害虫名： 果樹のカメムシ類（特にツヤアオカメムシ）
2. 対象作物： カンキツ、カキ、キウイフルーツ等（特に山林隣接園）
3. 調査結果の概要
 - 1) 府中果樹研究所（坂出市府中町）の予察灯における9月21～25日までのカメムシ類（主要4種：チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、アオクサカメムシ、クサギアオカメムシ）の誘殺数は、平年の4.6倍（本年：128頭、平年：28.0頭）と多かった。特にツヤアオカメムシの誘殺数は平年の8.3倍（本年：101頭、平年：12.1頭）であった。
 - 2) 農業試験場（綾歌郡綾川町）の予察灯における9月21～25日までのツヤアオカメムシの誘殺数は平年の3.7倍（本年：58頭、平年：15.7頭）であった。
 - 3) カメムシ類の発生量が多いことから、県下主要果樹であるカンキツ、カキ、キウイフルーツ等（特に山林隣接園）での被害が懸念されるため、早めに防除を行う必要がある。
4. 防除対策
 - 1) カンキツ類は、着色前の果実でも吸汁されると果実内部が褐変し、落果するため注意する。
 - 2) 圃場内をよく観察し、被害果実やカメムシ類の発生が見られる場合は、早急に薬剤散布を実施する。特にスギ、ヒノキ等が周辺に多い圃場や、過去に被害が認められた圃場では注意する。
 - 3) 多発してからの薬剤散布では防除効果が劣るので、発生初期の散布を徹底する。
 - 4) 成虫は夕方に飛来し夜間加害するので、薬剤散布は夕方に広域かつ一斉に行うと効果的である。
 - 5) 黄色蛍光灯は、チャバネアオカメムシには忌避効果があるが、ほかのカメムシには効果がないので注意する。
 - 6) 防除薬剤は、香川県監修の果樹病害虫防除暦を参考にする。



第1図 誘殺数の多い果樹カメムシ類 (出典：小豆オリーブ研究所)
 (左からチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)



第2図 府中果樹研究所の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺状況



第3図 農業試験場の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺状況

病害虫防除所インターネットホームページ

URL: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/byogaichuboj/index.html>

